

カテゴリー7

Class _____ No. _____ Name _____

技能・形態・時間	語彙(想起) グループ(3～4人) 4分
この帯のねらい	お題カテゴリ(fruits / sports / things in the kitchen…)の単語を、グループで順番に1語ずつ言って7個そろえる。詰まったら7からやり直し——プレッシャーが想起を速くする帯。

やり方

毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

1

Today’s category is Make a circle!

先生がカテゴリを発表。グループで順番を決める

2

Say one word each. Count up to seven!

1人1語ずつ順番に言う(Seven! まで数えながら)

3

Stuck for five seconds? Restart from one!

5秒詰まったら1からやり直し(同じ語は使えない)

4

Cleared? Try the next category!

7個そろったら次のカテゴリへ。3分で何カテゴリいけるか

ルール

・前の人の語の繰り返しはアウト(聞いていないとできない)

・5秒ルールはグループで数える(Five, four, three...)

・つづりは不問、通じる発音ならOK

きろく やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	クリアしたカテゴリ数	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ！

レベル2は「アルファベット順しぼり」(apple→banana→cherry...)、レベル3は「文で言う」(I like apples.)。教科書の単元テーマをカテゴリにすると、単元語彙の想起練習になる(環境の単元: nature words)。

先生へ(この帯活動の運用)

語彙の速い想起(fluency of retrieval)をグループの連帯プレッシャーで引き出す帯。7という数字は「1人2語は必要」になる絶妙なライン(4人グループの場合)。得意な子が連発して終わらないよう「順番厳守」がルールの核。詰まった仲間に口パクでヒントを出す姿は、止めずに見守ってよい——それも語彙の想起活動になっている。